

地域密着型金融の取組事例について

 タイトル 地域との連携による新規就農支援 J A 名 J A 伊豆の国 (静岡県)

1 動機 (経緯)	<p>地域農業の担い手の減少と高齢化により、地域農業が年々疲弊していく中で、これからの地域農業を支える担い手の育成・支援が、最も重要な役割として位置づけられます。生産者、行政、J A が一体となって、地域農業の担い手となる人材の育成と支援を図るべく取り組んでおります。</p>
2 概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ J A 伊豆の国管内における、高い技術と指導力を持った熟練農業者の下で、1 年間から 2 年間の研修を行っていただき、農業経営者として経営理念の確立と栽培の基礎知識を習得していただきます。 ・ J A として次のとおり支援を行います。 就農計画の作成、制度資金借入手続、栽培農地の幹旋、栽培施設・設備取得、巡回指導、各関係機関との連携・調整等 ・ J A 伊豆の国ニューファーマー地域連絡会を設立し、研修受入農家、行政、J A とが連携し、多方面から新規就農者を支援。毎年一回、意見交換会を開催し、就農後の経験談や日々の問題を話し合い、一緒に解決策を探り、地域全体で情報を共有する場となっております。
3 成果 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 24 年度は 8 名の研修生を受け入れ、うち 5 名は既に就農しております。3 名については、今後随時就農予定となっております。その結果、今までに新規で就農した者は 48 名となり、全国でも有数な育成先進地となっております。 ・ J A 伊豆の国果菜委員会ミニトマト部会は、地域と連携し新規就農者の育成・支援をし、その栽培技術と生産力が高く評価され、第 42 回日本農業賞・大賞を受賞しました。 ・ 新規就農者の増加とともに、作物の収穫作業などを担う人材が必要になり、地域雇用の新たな創出にも貢献しているほか、新規就農者とその家族の増加は地域の人口増加にも寄与しております。
4 今後の 予定 (課題)	<p>今後も継続した取り組みを進め、地域農業の発展と地域全体の活性化に貢献していくよう、J A の役割と責任を認識し遂行してまいります。</p>